

小児神経学の進歩

日本小児神経学会教育委員会・編

第27集

新生児の神経学

- 胎児・新生児の行動観察とその診断的意義……………小西 行郎
新生児けいれん—診断と治療—……………児玉 莊一
新生児神経疾患の外科治療……………坂本 博昭
低酸素性虚血性脳症—その脳障害の病態生理を中心に—……………吉岡 博

C.C. CT 上大脳基底核に石灰化を伴う低吸収域を認めた9歳女児

- 抗てんかん薬の臨床薬理学と小児てんかん治療の実際……………三牧 孝至
災害と子どものストレス障害 (PTSD) ……………清水 將之
グリア細胞はどのように分化するか……………藤田 哲也
小児における神経因性膀胱……………谷風 三郎

C.P.C. 学童期より視力低下, 歩行障害, 構音障害を認め進行性の経過を示した1男児例

- 脳性麻痺の治療—整形外科的処置と運動療法—……………鈴木 恒彦
Guillain-Barre 症候群における感染因子と糖脂質抗体……………西村公孝・他

● 小児神経学 — 最近の展望 ●

- はじめに……………岡 鏗次 変性・代謝性疾患……………山野 恒一
診断技術……………梶井 直文 神経筋疾患……………斎藤加代子
新生児神経学……………永井利三郎 発達障害 (発達診断, CP など)……………麻生幸三郎
先天異常……………桜川 宣男 小児脳神経外科学……………大井 静雄
炎症性疾患……………衛藤 義勝 精神発達遅滞, 心身症, 社会医学……………大沼 晃
発作性疾患……………満留 昭久 境界領域……………水口 雅



診断と治療社